

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、
旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

Brauli



Vol.18

Photo(C) Hiro



Khaosan Tokyo Guest House

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

日本で海外の気分を楽しめる!

カオサン東京ゲストハウスは、東京、京都、福岡、別府に計8つの店舗を展開しています。
国際交流をしたい! 安く快適に泊まりたい! 楽しくにぎやかに滞在したい方!
観光、就職活動、一人旅等、あらゆるお客様に満足していただける宿泊施設です。



TOKYO

NINJA

1泊/2200円~

ORIGINAL

1泊/2000円~

SAMURAI

1泊/2500円~

ANNEX & SMILE

1泊/2000円~

KABUKI

1泊/3000円~

KYOTO

1泊/2000円~

BEPPU

1泊/2000円~

FUKUOKA

1泊/2400円~

THIS IS YOUR BACKPACKER LIFE.

旅人の数だけ違った
スタイルがあっという。

これはあなたのバックパッカーライフです。

バックパッカーで旅をするって特別なことですか？あなたは旅バカですか？
もしアナタがクローゼットの中にあるバックパックに想いを馳せるなら「旅バカ」です。
苦楽を共にしてきた数々の相棒を捨てられずにいるなら、間違いなく「旅バカ」です。

残念なことにそれは **不治の病** です。一度目は衝撃の印度
2度目はうまくやれるナマステ 3度目はもう病気です！

バックパッカーの大好物, 最北端, 最南端, 最西端, 最東端, 赤道, 南北回帰線,
洞窟, 離島, そして僻地, 辺境, 秘境, 越境…

越境！ バックパッカーの妖しい与太話に散りばめられた真実、
そして名もなき旅人たちが残し受け継いできた、

「金の北米、女の南米、
数々のバックパッカー名言&格言。

耐えてアフリカ、歴史のアジア、何も無いのがヨーロッパ、
問題外のオセアニア」放浪 流浪 徘徊 ジプシー ノマド ボヘミアン etc...
行った国の数はそんなに大切なのか？ 世界一周って何ですか？ あのガイドブックの裏話。

J-Backpacker styleの系譜。

それは『何でも見てやろう』から始まった。結論のでないあの愛しきバックパッカー論の数々。
「日本人宿/ガイドブック/節約ピンボー旅/夜のパトロール」カニ族全盛期から時は刻まれ、
いまやバックパッカー3.0 爺ちゃんも両親も旅人の3世代目バックパッカー出現！
スマホ, Wi-Fi, LCC, ナチュラルボーン…デジタルネイティブで、ソーシャル・ヒッピーな

こちら側の世界へようこそ。
バックパッカー新聞、

創刊です。

デジモンバックパッカーが闊歩する時代の到来。
旅は変わっちゃまったのかい？
旅の環境や手法が変わっても、やっぱり旅は人
との出逢いだ、やっぱり人が断然オモシロイ。
わたしたちは、そんなバックパッカー現役OB/OG、
そしてこれからバックパックを担いで旅に
出る仲間のベースキャンプとなりたい。

Coming soon. 『バックパッカー新聞』 Published By Japan Backpackers Link 発行人 編集長 向井通浩

<広告>

「モロッコのグランド
キャニオン」と呼ばれ
るトドラ渓谷までのん
びり徒歩30分で行ける
日本人が経営するアッ
トホームな宿。
バルコニーからは一枚
岩が眺められ、手前の
畑にはアーモンドの
木々が見え春にはサ
クラのような花が咲き
花吹雪を楽しむことが
できる。



MAISON D`HOTE AMANDE CHEZ NORIKO

◆料金◆

宿泊代 70DH
朝食 20DH
夕食 50DH
洗濯機使用料 10DH

◆設備◆

部屋数4室
サロン
大きめのバルコニー
Wi-Fi
シャワー室・トイレ共同

日本食もO・K

家庭的な
小さな宿



◆住所・お問い合わせ◆

住所

Ait Ousalene Tizgui TINGHIR 45800 MARO

電話番号

+212(0)6 7040 4369

+212(0)6 5319 5219

モロッコ国内からは0653195219

E-MAIL

amande@hotmail.co.jp

詳しくはホームページで

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com>

MOROCCO
TODRA GORGE





Http://brali.net

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、
旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。
また旅に出てみるのが、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。
そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。
旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し
経験した人とは共有し、経験していない人へは追体験してもらいます。
また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組みづくりを
行ない Brali も社会に寄与します。

電子書籍

隔偶数月25日発行

記事・写真随時募集



旅

を続けるために

ジーンサンになっても
バーサンになっても



10月1日からリニューアルオープン！
就職お祝い金制度開始！

海外就職
あり



観光業も
あり



アジア
多数



バックパッカー専門の転職サイト

Bral Job

For Backpackers



旅に出ない理由、1. 金が無い 2. 時間がない 3. 帰国後仕事が無い
1番2番は何ともいたしがたいですが、3番目を解決すべくバック
パッカー専用の転職サイトを真面目にやっています。

バックパッカー 世界一周 求人広告

正社員 転職 海外就職

アルバイト 旅行・観光業

フリーアコモデーション 現地採用

世界初
日本発

Http://job.brali.net

CONTENTS

CONTENTS

- 旅人からの伝言 特集「ベトナム」
- ベトナムWIKI
- ベトナムTIPS
- ベトナムでの現地採用って実際どうよ？
- 旅先の変な日本語
- コラム 山旅
- エッセイ「旅トキドキ・・・」
- HANGOVER in the WORLD 【ベトナムの酒】
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 自炊派の手料理「お茶卵」
- アジア漂流日記
- 作者・情報提供者一覧
- 編集後記
- 次号予告
- 記事募集



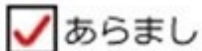
旅人からの伝言

ベトナム

Photo(C) 柳澤紘美

行き尽くした感のあるベトナム。わざわざバック
パッカーじゃなくてもツアーもあるし。。
そんなツアーが行かないレアな場所を尋ねるのが
バックパッカー。歴史や文化も意外と知られていな
い、近くて遠いベトナムを覗いてみます。

ウィキ予習



あらまし

首都はホーチミンちゃうで

ベトナム社会主義共和国（ベトナムしゃかいしゅぎきょうわこく）、通称ベトナムは、東アジア・東南アジアのインドシナ半島東部に位置する社会主義共和制国家。国土は南北に長く、北に中華人民共和国と、西にラオス、カンボジアと国境を接し、東は南シナ海に面し、フィリピンと対する。首都はハノイ市。

まだ社会主義共和制やで



人口

91,700,000 人 (12 位)



面積

346,410km² (64 位)



首都

ハノイ市 (最大の都市 ホーチミン市)



農業 コーヒー世界第2位やで！知っとる？

コーヒーは、現在ではブラジルに次いで世界第二位の生産量 (99 万トン、2003 年) に達している。大部分がインスタントコーヒー、缶やペットボトル入りの清涼飲料、製菓用途で使われる安価なロブスタ種 (カネフォラ種) であるが、レギュラーコーヒーに使われる高級品のアラビカ種の栽培も始まっている。また、現地では基本的に植民地支配を受けたフランスの手法を取り入れた飲み方にてベトナムコーヒーが飲まれる。

水田水稲作地帯は北部の紅河デルタと南部のメコンデルタであり、生産性も高く、国家の重要な穀倉地帯を形成している。メコンデルタで栽培できる野菜類は、ナス、キュウリ、トマトなどのほかに、ミント類がある。

輸出品目第1位が石油！スズは世界第4位！



鉱業 知って知ったっけ？

ベトナムは石炭・南シナ海で採掘される石油を中心とした有機鉱物資源、スズを中心とした金属鉱物資源に恵まれている。北部ハロン (ホンゲイ) から産出する石炭は上質の無煙炭であり、19 世紀末からホンゲイ炭として採掘が始まっている。2003 年時点の採掘量は 1670 万トン。ベトナムは産油国でもあり、1660 万トンの原油を産出する。輸出品目の第一位は石油であり、2002 年時点では全輸出額の 19.6% を占めた。天然ガスの採取量は 126 千兆ジュール。金属鉱物資源は、北部デルタ周囲の丘陵地帯に主に産する。もっとも重要なのが世界第4位のスズ (4000 トン、世界シェア 1.5%、2005 年)。亜鉛、金、クロム、鉄、鉛のほか、リン鉱石を産出する。



ウィキ予習

民族構成

ベトナム人はベト人（越人、京人、キン族）が85%から90%、その他に華族（華人）3%、タイ系のタイ族（ターイ族）、クメール人（クメール族）、ムオン族、メア族、モン族（ミャオ族）、ザオ族、チャム族などの53の少数民族がいる。

文化遺産

フエの建造物群 - (1993年)

ホイアンの古い町並み - (1999年) ※

ミーソン聖域 - (1999年)

ハノイのタンロン皇城の中心区域 - (2010年)

胡朝の城塞 - (2011年)

自然遺産

ハロン湾 - (1994年、2000年)

フォンニャ-ケバン国立公園 - (2003年)

ベトナム料理（ベトナムりょうり）は、ベトナム国で形成され、食べられている料理。中国文化や植民地統治時代のフランス文化などの影響を受けており、あまりクセがなく、マイルドな味付けである点を特徴としている。

ベトナムは古来から、中国文化の影響を強く受けてきたため、ベトナム料理にも中華料理の影響が色濃く現れている。また、19世紀から20世紀にかけてフランスの植民地統治を受けていたため、他のインドシナの国々同様、フランスの食文化の影響も多く残されている（バゲットやコーヒー、プリンなどが日常の食生活の中に定着しているといったような点はその例である）。食におけるタブーはほとんど存在せず、多彩な食材を扱う。

世界三大料理国の中国とフランスの影響が濃いんや！美味ないわけないやろ。

宗教

宗教は仏教（主に大乘仏教）が大半を占めている。その他にも道教、ローマ・カトリックなどがある。また南部にはホアハオ教や、混淆宗教としてのカオダイ教が教勢を保っている。公的に認められた宗教は、仏教、カトリック、プロテスタント、イスラム教、カオダイ教、ホアハオ教の六つである。このうち後ろの二つはベトナムで生まれたベトナム独自の宗教である。

国家は宗教の自由を人民に保障しているが、共産党員はホー・チ・ミン元国家主席のみを信仰する傾向がある。

ホー・チ・ミン信仰は宗教ちゃうけどな

インターネット接続規制

また、ベトナム社会主義共和国では、Facebookの接続がしづらい状況が続いており、ウォール・ストリート・ジャーナルは、ベトナム社会主義共和国を『スマートフォンやタブレット端末が、ベトナムで急速に普及しているものの、世界で最もインターネットを利用するのが危険な国の1つでもある』と、指摘している。

**反政府プロパガンダを広めたゆう罪で
ブロガーが収監されてんねん**

旅人からの伝言 Tips



TwitterなどのSNSでお題を投げかけ、お返事を集めて情報を並べました。
気になる Tips をチェックしてくださいね。

美味かった、ビックリした、ご飯、スイーツなど教えてください。



@dumon22: ホイアンにあるシークレットガーデンの揚げワンタンが忘れられません。ホイアン近くのビーチもきれいで人が少なくて快適でした。



@romiyanagi: ハノイのピアホイには、はまり滞在中に何度も行きました?! プンチャのダックキムも最高に美味しかったです。

はずせないスポット、面白いスポット、レアなスポットって？



@nakamiti: お薦めビーチ Hon Son 島のビーチ。rach gia の船着き場からフェリーで島へ。港からバイクで往復 5 万弁。



@nakamiti: デナム周辺のホーチミン市の夜景。195 Bui vien Duc Vuong Hotel の屋上カフェ。pullman saigon centre hotel 最上階。前者は飲み物は普通の価格ですが、後者はビール 8 万弁の高級ホテルです。マジェスティックホテルのバーでビール 10 万弁、、、



@nakamiti: 日本人旅行者の少ない中部高原。一押しは buon ma thout から南に下った lak 湖。du lich sinh thai ho lak で少数民族家屋のドミ五ドル。象乗りあり

ここの宿、最高だった！ってな宿と理由をご紹介ください。



@nakamiti: ファンティエットの南隣のマイナーな街 RAGI の宿 CoCo Home Stay 。オーナーは日本語可。敷地内に図書館東屋がある。日本語本あり。何故か投資本多い。隠れ家に。

旅人からの伝言 Tips



TwitterなどのSNSでお題を投げかけ、お返事を集めて情報を並べました。
気になる Tips をチェックしてくださいね。

はずせないスポット、面白いスポット、レアなスポットって？

@nakamiti
さんから
オマケ！

@nakamiti: ハノイ。ホアンキエム湖北岸。タクシー溜まりあたりの靴屋の奥の階段上がるカフェは15年以上前からある老舗。看板はみあたらない。

@nakamiti: Binh Ba 島。今ベトナム人に人気。ニャチャンからローカルミニバス 25000 円でカムランへ。カムランの Ba ngoi 港から船。

@nakamiti: cu lao thu 島 (phu quy)。ファンティエットから船がでてる。季節や潮の状況により時間未定とか。今、一押しのお島らしい。行ってみたい。



Photo(c) 鈴木もと

Photo(c) 鈴木もと



ベトナムでの現地採用って実際どうよ？

ベトナムでの現地採用って実際どうよ？

私は13年間ベトナム在住の、とあるビジネスマンです。

以前ならベトナム？ 戦争でしょ？ とか、サッカーが強いところ？（ブラジルと間違える）などの反応が多かったのですが、最近は、ベトナムで働きたい！ アジアで働きたい！ という方が少しですが、増えています。

そもそも、現地採用という言葉、どう感じますか？

「ローカル採用」「ナショナルスタッフ採用」「海外就職」いろんな表現はありますが、おそらくあまりいいイメージではないでしょう。

遊んでる（様にしかみえない）駐在員を横目に、何でもやらされ、保証はなく、給料も低い。日本食なんてたまにしか食べてなくて、ローカル食ばかり。

ゴルフも行ってなくて、ベトナムの日本居酒屋で

「現採の奴らは、何でベトナムで働いてるんだろな～、保障も、待遇も、昇進も何もないのにいるなんて信じられないわ！」

と言われてるのを、半沢直樹の遠藤ばりにこぶしを握り締めて耐えてる姿……。

加えて言うと

「何かうちの会社ってさ、わけわかんなくて男性の生理休暇があって、半年に一回ベトナム赴任者は、シンガポールかバンコクに、人間らしい生活を取り戻しに行く休みがあるのよ。家族のホテルとお小遣い付きで。俺はそれなら日本帰りたいていってのに、本社の人事がよ～」

ベトナムは人間以下の暮らしをしてることかい！ とキレながらも、ちょっと羨ましく思う自分が嫌いになる姿……。

夢も希望もない様なことをいいますが、日常的にこんなシーンはあります。

シンプルに日系企業側から「現地採用」を定義するとすると、コストカットの典型的ポジションです。日本人を、駐在員のコストをかけずに雇って、現地社員との橋渡しをして欲しい。（ベトナムにいる日系企業は、製造業以外にも沢山進出しているのですが、どうもまだ意識が、製造業と同じコストカットセンターの意識が強いです。）

現地が好き！ 現地で頑張りたい！ という若き、才能溢れる日本人のやる気に、企業が甘え

ているという見方もできるかもしれません。

ただ、応募者側から見る「日本で就職すること以外に、海外でも就職することで自分を変えるチャンスをつくる！」「海外で就職すると、日本で就職するのとは違う経験ができる！」「グローバル人材の最初の一步を踏み出せる！」こういった海外就職（すなわち現地採用）を盛り上げるキーワードは、間違いではありません。

実際そういったルートで、こちらに来て現採から入り、起業して、成功してる人も数多くいます。農業、ネイルサロン、IT企業、学習塾などなど、海外起業者がどんどん増えてきています。

15年位前は、ベトナムで日本人はおじさんばかりでしたが、今は若い才能のある起業者がどんどん増えてきているのです。

そういった意味で、最初の一步、手段としての現地採用は、現時点のベトナムは、あります。モノも人もまだまだ少ないし、やれることが沢山あるからです。

試したい、やりたいことがある人は、どんどん来て欲しいですし、来るべきかと。

これがシンガポールやマレーシアなど、既に成熟期に入ろうとしてる国ではできないことが、こちらでは可能性が満ち満ちてるからです。

人口1/3ぐらいの韓国に、在住者数10倍以上差がついてるの現状で、日本国としてもとても嬉しいことだと思います。

逆に、今のベトナムの経済規模やレベルで仕事をする事自体が、目的になる人は、ちょっと厳しいです。

環境が一変して、生活が苦しいどころか、それなりの日本料理、それなりの部屋など、苦しくない要素がどんどん増えてきているからです。（特にホーチミンは）日本人もホーチミンで6000人いて、いろんなコミュニティーがあり、毎日日本語だけでも生活できる環境です。

そしてそういう人は二年後に、「ベトナム飽きた！」「ベトナムにいてもキャリアが創れない！」などの理由で、帰国していく人が多い気がします。

その通りです。現地採用者は、日系企業の都合のいい雇用の調整弁なのです。

絶対に、人材紹介会社や、マスコミは言わないかと思いますが、ベトナムで現地採用で、日系企業で働いても企業が欲しがらるキャリアは、創れません。

先ほど言いましたが、あくまで企業の評価はコストカットの典型的なポジションだからです。

「そうはいつでも外国で働いてるのだから！」とか、「海外で外国人と一緒に働いた経験は評

「価値されるのでは？」などの少しの希望や、根拠のない未来を感じるようであれば、ベトナムには、来るべきタイミングではないかも知れません。

結論から言うと、手段としてくるのはあり！ 目的ならなし！ 目的で来ても、手段にしようとチャレンジする気持ちがあるなら、まず飛び込んでみて下さい！

グエン吉祥寺

中国、ベトナム、ラオスに色々関わり10年以上です。中国、ベトナム、ラオスへの想いは人並み以上にあるからこそ、気遣いは置いといて、ど真ん中どストレートで、想うことを投げ続けていきたいと思います。

日本語



旅先の

海外でみかける変な日本語。看板やメニューをはじめ、商品名やTシャツ、チラシに至るまで。笑わせてくれたり、困惑させられたり。そんな変な日本語をTwitterなどで募集してみました。



「ぜんじゃい」って可愛い過ぎるだろっ！

Photo By Hiro

コラム 山旅

身の回りにも「登る人」いませんか？登らない人には理解し難いかもしれない。

あの人は、旅の途中になぜ登るんだろう？

ちょっとだけ解るようになるかも。

「ただ旅行するだけではなく旅中に何か挑戦したい」

世界2周目出発する前に決めました。「今回は山を歩こう」

世界1周目の後悔は2周目で晴らす。

僕は自分勝手に「僕には登山は無理だ」と思い込んでいました。体調的な問題で。

そして、「お金さえかければ得る事が出来る絶景ではなく、自分の足で苦労したからこそたどり着ける絶景」を手に入れたい。

山旅を始めたきっかけです。

時間だけならいくらでもある長旅において、なぜ挑戦する前から「諦めて」いたのだろうか。情けない。

2013年7月に、登山用品を90リットルのバックパックに詰め込んで再出発。

頭の中には山岳プランが出来ています。

- ・ザンスカールトレッキング
- ・6000M峰ストックカングリ登山
- ・フンザで2、3峰登る
- ・パミールで1、2峰登る
- ・アフリカで登る、と。

2014年2月現在、旅をスタートして8峰登りました。今回は2014年1月に登った、カーボベルデ最高峰フォゴ山についてです。

フォゴ島はカーボベルデの首都プライアがあるサンチャゴ島より西に数百キロほど進んだ火山島。島の中心にそびえるのが島の象徴フォゴ山です。

日本でこそあまり知名度は高くないですが、ヨーロッパ（特にドイツ人）にとってはそこそこ馴染みの深い山。

登山口は麓の「チャ・デ・カルデラス」という火山岩でできた村にあり、前日泊。

登山前日は、毎度のように緊張します。当日体調が優れず山頂にたどり着けないのは悲しすぎますし、食あたり、水あたりは是が非でも避けたい。

そうです。ここは海外。ましてや僕のお腹の弱さはピカイチ。油断など一瞬たりともできないのです。

できれば前日は脂っこいもの、生ものを避けたいところですが、そんな事言ってもらえません。食べ物は限られています。

結果、シュハスコ（焼き肉）でした。

フォゴ山は標高こそ2800Mほどと、さほど高くはありませんが、朝昼の気温差が30℃以上あるので、体力の消耗が激しいことで有名です。

5時半起床6時半登山開始のこの日、気温は3℃。白い息がこぼれます。

何か駅伝のスタートみたいな面持ちです。

「たかが」遊びの登山ですが、一步間違えれば命に関わります。その緊張感が登山の魅力かもしれせん。

僕は「真面目な」アクティビティが大好きです。

一緒に登ったのはカタルーニャ人のウリーとマリア。

英語能力が同じ位なのですぐに仲良くなり、登山中も時折会話をします。

ウリーは売り出し中の自然写真家。キャノンのフルサイズ一眼を片手に山を登ります。人の数倍の荷物を持つ彼の額には常に大粒の汗が光ります。

7時半すぎ、陽光が我々を照らし出します。徐々に気温の上昇を感じる。暑い。

フォゴ島は活火山。今でもクスクスと硫黄が漏れる場所もあり、斜面は黒い火山岩、砂岩。一步踏み出すごとにズボンがスス汚れます。今まで登った「緑緑」している山とはまた異なるわけです。

1月のカーボベルデは「乾季」。文字取りほぼ雨が降らない時期。

雨男の僕が1月を選んだ理由はこれ。

「山頂で快晴の景色が見たい」

9時半過ぎ。ポツリポツリと登山者が山頂にたどり着きます。

先に登頂したウリーとマリアが

「Hello! Tani! Come here!」

と叫んでいる。

僕も早くその場に立ちたい。景色が見たい。山頂の空気を吸いたい。

9時57分。ついにカーボベルデ最高峰に到着。

ここがカーボベルデ最高峰。つまりカーボベルデにはココよりも高い場所は無いだ。そんな当たり前の事が快適に思える。山頂。

見渡せば上空に雲をまとった大西洋。フォゴ島の形がくっきりと眺める事が出来るこの場所は、2014年最初の「挑戦」でした。

旅に「挑戦」とか「努力」とか、そういった単語はおかしいかもしれません。でも僕の場合、「頑張る旅」をしていた方が楽しめるんです。登山もその一つ。

社会人を辞めてまで旅をしている以上「単なるレジャー」として旅を終えたくない。

自分の旅をとことん掘り下げて、「自分が好きな地」を徹底的に求めます。それが僕にとっての登山なのです。

自分の足で「頑張ったから」こそ山頂から景色が見れるんです。この感動が病み付きになります。

そして、山頂で食べるお昼ご飯はどうしてこうも美味しいのでしょうか？

たかがビスケットですが、低地で食べるよりも数倍味わい深い。

感激も一入です。

フォゴ山を登るためにカーボベルデを選びました。次はどこを登りましょう？

アンデス山脈をトレッキングしたいですし、ヒマラヤ山系にも引かれる。

旅の中身に「山」が入る事で、こうも旅先が変わってくるのは非常に面白い。自分のコンディションを「山」に合わせ、求める絶景を手にしたときの感触。

早く、次も登りたいなあ。歩きたいなあ。

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

[Twitter:@taniwheellie](https://twitter.com/taniwheellie)

《弱いものは死ぬ世界》



鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84（100M）
美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

アフリカ、タンザニアの大地でサファリをした。

そして決めた事がある。

将来自分に子供が出来たら、動物園には連れて行かず、アフリカに連れて行く。

タンザニアのタレンギレ国立公園に連れて行く。



ジープを借り、バオバブの木が青空に向かって伸びているその間を縫うように進みながら、双眼鏡片手に一緒に動物を探す。

初めてのサファリで、初めて見る動物達に100%感動するはずだ。

サバンナは想像以上に厳しく、

とても残酷だった。

足が遅く生まれた動物は、真っ先にライオンやチーターに狙われ、

年老いて動けなくなれば、ハイエナやハゲワシに生きたまま内臓から食べられる。
肉食獣の彼らに情けは無いだろう。



そしてアフリカの日差しは本当に強烈だった。
渴いた日差しが、ジリジリと皮膚を焦がしていった。

そんな赤道直下のこの地で、満足な日陰も無ければ、満足な水飲み場も無い。

水を求め、動物は何十キロと命がけで歩き、
川にたどり着けば、水中からワニが命を狙ってくる。



人間界とは全く違う世界。
動物の国にお邪魔してる感じだ。

そんな過酷な世界で暮らす動物たちは、生命力が溢れ、とても儂く、とても美しかった。
壮大な大地で生き残りをかけ生き抜いているその姿に、何故か感動して、何故か涙が溢れそうになった。



将来自分の子供には、このサバンナの大地を生で見せ、
こんな厳しい世界で動物たちは生きてるんだぞって教えたい。
アフリカの庶民の生活を見せ、いかに恵まれた中で生きていたのかを知ってもらいたい。

少し位貧乏になっても、アンラッキーが続いても、卑屈にならず、明るく楽しく暮らせる人になって欲しいな。

人の幸せを願い、人の不幸を悲しむ事の出来る人になって欲しいな。

まあこんな事を書いてますが、当分子供つくる予定はありませんが。

いや、まずは子供を作る前に、仕事を探すことからかな。

でもその前に住む所も探さなくちゃならない。いや、その前に病んでる国に帰らなくちゃならないか。



人間の世界もある意味サバンナかもしれない。

【ベトナムの酒】

今年の1月から2月にかけてベトナムを縦断した。そのなかで見えてきたベトナムビール事情。

今回は、①ベトナムビールの地域性 ②ニャチャンのマイクロブリュワリー訪問記 ③ベトナムで一番安くビールを飲む方法 のビールオンリー3本立てでお送りします。

①ベトナムビールの地域性

皆さんご存じの通り、ベトナムは南北に細長い形をしている。そんなベトナムを縦断しているとビールに地域性があることがわかる。ある地域でしか飲めない（もしくは飲みづらい）銘柄が多いのだ。そんなビールを北から順に紹介していきたい。

ベトナム北部

・ラオカイビール

ベトナムと中国雲南省の国境ラオカイ近辺で飲めるビール。



・ビアハノイ

ベトナムでもっとも有名なビールの1つがハベコ社のビアハノイ。北部を中心に比較的全土で飲める。ベトナムビールのスタンダードだ。



- ・ビアハリダ

ビアハノイと異なりハノイを出るとなかなか見かけないのがビアハリダ。象のラベルがなかなかキュート。

- ・ハノイビール

3年前は見かけなかった銘柄。ビアハノイとは全くの別物。ホップの苦味が強く、他の東南アジアのビールにはない力強さを感じる。

ベトナム中部

- ・ビアフダ

フエの中心的ビールの1つがフダビール。

- ・フェビール

名前そのままの通り、こちらもフエの中心的ビール。



- ・フェスティバル

ほとんどフエでしか見かけなかったがフエでも置いてあるところが一番少ないのがフェスティバル。



・ LARUE

比較的色々なところで見かけるが、ホイアンで特によく見かける虎のラベルが目印のビール。100年以上の歴史を誇る。

ベトナム南部

・ 333

333と書いてバーバーバーと読む。日本でも、ベトナム料理屋でよく見かけるのがこの銘柄。



・ ビアサイゴン（スペシャル）

ホーチミンシティの昔の名前を冠したビアサイゴン。スペシャルの名に恥じない苦め強めのビール。その分値段もスペシャル。



・ビアサイゴン（レッド）

ビアサイゴンのスタンダード版。

ビアハノイ、333等は比較的全土で購入できるが、ラオカイビールや中部のビールはそれ以外の土地では特に入手が困難になるので、気に入った銘柄がある場合は町から町へ移動する前に思う存分飲み納めして欲しい。

②ニャチャンのマイクロブリュワリー訪問記



ベトナム南部のニャチャンは、ビーチリゾートベトナム1のダイビングスポットとして有名だ。そんなニャチャンにマイクロブリュワリー（小規模醸造所）があるということで訪れてきた。ルイジアナブリュワリーはニャチャンのビーチ沿いの大通りTran Phu通りを中心部から少し南に行ったところにある。

醸造過程の見学などはできないが、一部ガラス張りになっていて醸造設備を見ることができる。醸造所はレストランを併設していて、ここで作られたビールを堪能することができる。値段はグラス（330ml）40,000ドン（≒200円）とベトナムビール水準からするとかなり高い。節約旅行者とは言え折角来たのだからいろいろな種類を飲み比べたい。そんなあなたにはテイスティングトレイ（110,000ドン）がお勧めだ。テイスティングトレイではピルスナー、ダークラガー、ウィート、レッドエール・スペシャル・クリスタル・エールのいずれか（在庫状況により変動あり。私の時はこの醸造所オリジナルのパッションビールだった）の4種類が各200mlずつ飲める。

ベトナム有数のビーチを眺めながら昼からビールなんていかがでしょうか？



③ベトナムで一番安くビールを飲む方法

ベトナムでは日本に比べて半額以下の値段でビールを飲むことができる。

333、ビアハノイ、ビアフダなど、ベトナムローカルな銘柄がスーパーで9,000ドン（≒45円）ほどで買える。レストランでは約15,000～20,000ドン（≒75～100円）。これで

も十分安い。しかしベトナムではもっと安い値段でビールを飲むことができる。

ベトナムで一番安くビールを飲む方法、それはビアホイに顔を出すことだ。ビアホイはベトナムのマイクロブリュワリーの総称のようなもので街角に多数軒を連ねている。グラスで一杯3,000~9,000ドン(≒15~45円)。この格安プライスでなかなかコクのある生ビールが飲むことができるのだ。

そんな安い上に街角でビールを飲むなんて大丈夫なの？　と思うなかれ。確かに「インドで密造酒で〇人死亡」のようなニュースがしばしば流れることから不安を覚える諸氏もいることだろう。保証はできないが私はほぼ問題ないと思う。なぜなら、ビアホイはベトナムのビールカルチャーを語る上でなくてはならないものだし、「地球の歩き方」「Lonely planet」など大手ガイドブックでもしっかり紹介されているからだ。

それに多くのベトナム人によって日々消費されているため、回転率が高くビールの鮮度も高い。

皆様もベトナムにお越しの際は、ビアホイを訪れてみて欲しい。

写真は平日の昼間からビアホイで宴会をしていたベトナム人。混ぜてくれたばかりかごちそうまでして頂いてしまった。

おまけ

ベトナムでハングオーバーと言えばフエの市場で格安のラオウイスキーを発見した。700mlでたったの40,000ドン。ホステルのみんなで回し飲みしてそのままクラブ兼バーのようなところに繰り出した。翌日朝早く移動する予定だったので私は3時頃切り上げたが、あとから聞いた話だとフランス人とかドイツ人は6時頃まで飲んでいたようだ。スサマジイ。

お酒が繋ぐ国際交流、ビバ！アルコール！

三矢英人

1986年生まれ、神奈川出身。旅の適齢期が到来したためリーマンパッカーを卒業し世界へ！島根をフェリーで出港しひたすら陸路で現在タイ南部。

[HP :My pace,My life\(http://www.mitsuyahideto.com\)](http://www.mitsuyahideto.com)

[Twitter :@hideto328](#)

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅

微笑みの国タイへ～ビーマンエアーに乗って～

功：すみません、僕たちが乗る飛行機って、まだ到着しない？

儀：さっきから2時間くらい待っているんだけど……。

空港スタッフ：ノープロブレムだ!! たった今、タイを離陸したらしいから!

功：今タイを出たんかい!!

儀：インドに引き続き、時間感覚がだいぶ緩いバングラデシュ。

功：そんなバングラデシュが誇る、国営航空会社Biman Bangladesh Airlines

儀：今回、バングラデシュから次国、タイへは飛行機移動なのです。

功：バングラデシュの隣国、ミャンマーはとても神秘的で、魅力的な国なのですが、調べてみると、入国は出来るが、通過は出来ない、とのこと。

儀：つまり、入国した場所から出国しなければならない。

功：え、それじゃ駄目じゃないですか！ 何とかならないんですか？

儀：幾度となく交渉を重ねましたが、結局願い叶わず……。

功：ミャンマーは次回のお楽しみだね。

儀：てなわけで、陸路ではなく（ちなみに海路も模索したのですが、それも駄目だった）、空路でのミャンマー越えからの、隣国タイへ。

功：そこで使ったのが、ビーマンエアー。

儀：ビーマンエアーの売りは何と言ってもその安さ。

功：そのかわり、たくさんの方がレビューしていますが、ぽんこつ。

儀：レビューが気になる方は「ビーマンエアー」と検索すればたくさん出てきます。

功：参考までに、ビーマンエアーの得意技はオーバーランらしい。



(出典：<http://www.1001crash.com>)

功：僕たちも、利用して、そのぽんこつさを体感いたしました。

儀：まず、出国のため空港に行くと、飛行機がない。

功：われわれの飛行機は?? って訊いたら、「まだタイの空港におるぞ」とのこと。

儀：耳を疑ったよね。ん？ タイ？ なぜに？

功：その後インフォメーションアナウンスで、「ダッカ発バンコク行きの飛行機ですが、ただいま搭乗が始まりました。タイで」って聞こえてきたときには吹き出したよね。

儀：必然的に、飛行機が到着しないので空港で待たされ、結局7時間ほど待たされたよね。

功：いつも時には寛容なバングラデシュの人たちも、さすがに、5時間過ぎたあたりで、職員にキレ始めていたよね。

儀：バングラ時間では、5時間が限界なんだね。

功：日本と比べたらだいぶゆとりあるなー。日本なら30秒遅れるだけで「電車遅れまして大変失礼致しましたー」ってアナウンス入るもんね。

儀：確かに。バングラデシュ人が日本の電車に乗ったら驚くだろうなー。上に人も乗ってないし。

功：そんなわけで、7時間遅れで飛行機に乗り込み、一路タイへ。

儀：が、飛行機が動き出した瞬間から、恐怖のフライトが始まる。

功：なんだか音がおかしいんだよね。

儀：おれ、窓際だったから、余計音が気になって、結局寝れなかった……。

功：無事に、タイの空港に着陸したときは、機内から歓声が上がったところを見るに、みんな同じように感じていたんだなーと。

儀：あんなにスリリングなフライトは初めてでした!!

功：最近は、かなりサービスも、安全性も向上したみたいなので（バングラデシュの友達調べ）、ぜひみなさん、バングラへ行く際はBiman airを!!

儀：そんなスリリングなフライトにより、いつもは肉体的に疲れるところを、精神的に疲れて到着したタイ。

功：タイは、僕たちにとって、この旅の中でも特に忘れることの出来ない素晴らしい場所でした。

儀：最大の立役者は、ガイウーという1人のタイ人の友人です。



功：まさしく。彼がいなかったら、タイという国での経験、体験は全く別物になっていたと思う。

儀：元々ガイウーとの出会いは、おれの大学の先輩からの紹介がきっかけ。

功：旅に出る半年くらい前から、世界各地の知り合いと連絡を取り合って、旅中に立ち寄れる学校を探していたときからだよ。

儀：そうそう、そこで、ガイウーを紹介してもらったんです。ガイウーのお母さんが、タイで先生をやっているの、その学校に立ち寄らせてほしいと。

功：結果快く引き受けてくれたのですが、何より驚くのが、ガイウーとのコミュニケーション方法。

儀：基本的にメールでのやりとりだったんだけど、全てのやりとりがなんと日本語!!

功：なにも知らずにメールを見ていたら、日本人同士のやりとりかと思うくらい自然な会話の流れです。

儀：ポルトガルから旅をしている最中もやりとりを重ね、遂にタイで対面。

功：ビーマンエアーに振り回され、当初の到着時間を大幅に遅れたにも関わらず、ガイウーは笑顔で空港で出迎えてくれました。

儀：翌日も仕事だっていうのに！　なんていいやつなんだ！　と出会った瞬間から思ったよね！

功：yes,そして一緒に夕飯を食べ、ガイウーの家に。

儀：実は、立ち寄る予定の学校は、タイの北東部、スリンにあり、バンコクからはすこし離れているのです。

功：幸い、ガイウーはバンコクで仕事をしていたので、スリンへ行くまでの少しの間、ガイウーのアパートに滞在させてもらうことに。

儀：で、居心地がよくて、結局1週間くらいお邪魔したんだけどね。

功：そうです。おかげで、バンコクの魅力を存分に味わえました。

儀：たくさん出会いもあったしね。そのへんはまた次回、お話ししたいと思います！

功：お楽しみに！　そして、大変ホットなのですが、なんと、今月末、そのお世話になったガイウーと、そのお母さんが横浜に来るのです!!

儀：楽しみすぎる!!　その模様はFacebookなどでシェアしますねー!!

功：それと、4月、新年度スタートと言うことで、2人の近況を最後にすこしだけ。

儀：おれは4月より、神奈川県で高校の先生を始めました。

功：ぼくは4月より、NPO法人CoCの活動に集中しつつ、以前からお世話になっていたスポーツ関係の社団法人の元で、社会の勉強をさせていただいております！

儀：肩書きは若干変われど、われわれの旅はまだまだ続きます。いつか残りの大陸も制覇してやるぜー！

功：もちろーん！！！！

Connection of the Children

<http://coccoccoc.web.fc2.com>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出

するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

自炊派の手料理『お茶卵』

自炊派の手料理『お茶卵』

旅に出たら現地の料理を食すに限る。でも物価の高い街での長めの滞在となると、さすがに外食ばかりはフトコロに堪える。そんな時は自炊。簡単で安くて美味しい自炊派の手料理をご紹介します。

中華圏の地域では屋台やコンビニでよく売られている〈茶葉蛋：チャーエーダン〉

お茶の葉を使って作ったゆで卵。筆者も香港に住んでいるというのもあり、今回はこれをアレンジして簡単なレシピにしてみました。

材料

- 卵..... 6個
- シナモン..... 大さじ1杯
- ドライジン..... 大さじ3杯（なければ他のアルコール類）
- 紅茶パック..... 5パック
- 砂糖..... 大さじ1杯
- 塩..... 大さじ2杯



作り方

- ①ゆで卵を作ります。
- ②ゆで卵に細かくヒビをいれます。
（殻が剥がれないようにヒビを入れるのがポイント）
- ③小さめの鍋にゆで卵がたっぷり浸かるくらいまで水を入れて、紅茶パック、シナモン、ドライジン、砂糖、塩を全部入れます。
- ④沸騰させてから、弱火にして1時間30分くらい火を入れます。

(水分が蒸発して卵が水面から出てしまうようでしたら、水を加えます)

⑤火を止めて、冷ましてから冷蔵庫に入れ、タレにつけたまま一晩寝かします。(ここでも食べる事は出来ますが、一度冷やす事で味をしみ込ませます)

⑥冷蔵庫から出して、火を入れて取り出せば完成。



*色々なお茶の葉で試してみるのもいいかも。
八角や醤油があれば、本場の味に近くなりますよ。

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を行っていたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

日本人が作る本格魚介豚骨ラーメンが
香港 荃湾に登場！！

らーめん 台風。



本誌にレシピ掲載中の元バックパッカー料理人"谷津達観"が半年間準備を続けてきたラーメン店、いよいよ香港にオープン。まだ本格日本ラーメン店の無い下町 荃湾で、香港ラーメンブームの新たな台風の目となる！



*店長「谷津達観」に「私は旅人です」と言ったら特製叉焼サービス！！

<http://www.ramen-taifu.com>
<http://www.facebook.com/ramentaifu>
香港 荃湾 大道81號寶成樓 地下7号舖
+852 2419 7717

【旅日記】旅の終わり、The Prodigy降臨《インド・ベンガルール編》

【旅日記】旅の終わり、The Prodigy降臨《インド・ベンガルール編》

Chibirock

Sigur RosとBeirut鼻眞のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

さすが長年の友人、インドにProdigyが来るとか、ニクイ情報をくれたもんだよ。

ベンガルールでの公演日は1月13日。

インド疲れてきてもう家帰りたいくらいだったので、そんな日までインドいられないなと思ったがどっこい。

インドらしからぬゴアにたどり着いてしまったがために、余裕じゃね？ と思ってそのまま、チケット買って来た。ゴア友3人も行くことに。

1人のつもりだったから、みんなで行けることとなり心強い。



ベンガルール出発日、置いていかれる俊さんを皆で撮影。全っ然朝起きなくて苦労したりしましたけども、中国から長い間、お世話になりました。

3週間のゴアぐうたら生活が終わり、ようやく旅が再開。久々の移動に心全く踊らず、めんどくさくてしょうがねー。

ベンガルールはゴアからバスで一晩。あたしと友達が座ったシートがボルトが足りなくて2席もろとも外れた。

ということ以外は特に問題もなく到着。

なんか大都会だが、とりたててやることはない。

ので、適当に街をぶらぶらして必死に時間をつぶす。途中、アイスクリーム屋行ったら冷凍庫壊れてて、アイスクリーム食えないとか、我々4人を無理くり乗っけたリキシャがぶっ壊れたり

、「基本スムーズに事が運ばないインド」を徐々に思い出した。



とりあえず人が多いインドではケンタでもやたら店員が多い。

翌日。

オートリクシャの運転手が道がわからず、必要以上に時間がかかったが、それ系のことは想定して行動しているので開場時間ちょい前に現地到着。エヘン。



しかし、誰も客が並んでいない.....。



この時間待ってるのは欧米系の旅行者ばかり。そしてここはインドだから、すでに開場時間過ぎてるのに、ようやく垂れ幕を飾りだし、ドリンク用の氷を運びこみ始めた。

ここはインドだから.....。

開場時間を過ぎること1時間半。ようやく本当に開場、なんかマサラ臭い歌が流れてきたので、すでにライブは始まっている様子。

道端に座り込んででも仕方ないので中に入るが



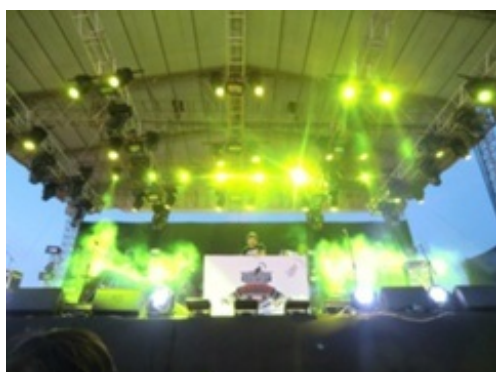
大丈夫ですかこのフェス??



Prodigyの曲名をつけた粋なカクテルを注文するも

「まだできない」

Prodigyが出る頃までに、できればいいんだよね、そう、それでいいんだよ。



とりあえずテンションは上がってきたので、ペンデュラムとかで



踊ったり



ライブそっちのけでむさぼりまくったりを観察しまくったりしてたら、登場、神童。



画像提供：天然のナルちゃん

本当に来た！！！！

インドだけあって、やっぱやんねーとか言われんじゃないかとか、どっかで思ってたけど、ほんとに来た、インドなのに、今あたしは、イギリスからお越しのProdigyと、ここインドでご対面だよ。



画像提供：人の物遠慮なく食うナルちゃん

たった2000円でこんな間近にマキシム。



大狂乱。



ぬおー。



誰！

頼むから一生終わってくれるな！！
しかし楽しい時間というのは腹立つほどソッコー終わるもので。



永遠の神童・Prodigyは、ゴアで腑抜けた我々に強烈な一撃をカマし、去っていった。



もう、幸せで幸せで、



この場にいた人片っぱしから、狂ったように話しまくった。



(ような気がするがあまり記憶がない)



メッセージ残した。

日本どころか、インド以外のアジア人はまさに我々4人だけだった。キースの日本人奥さん、見たかな、これ。

まさかインドまで来てProdigyにお会いできるとは、旅のクライマックス、これ以上のイベントは有り得なかった。



最終的にオカマにちょっかいかけて追いかけられたけど、それもあまり覚えてないけど、覚えてないけど忘れないこの夜。

作者・情報提供者一覧

【作者・情報提供者一覧】

旅人からの伝言 特集「ベトナム」 ベトナムTIPSで情報いただいた方のTwitterID

[@nakamiti](#) [@dumon22](#) [@romiyanagi](#)

旅人からの伝言 特集「ベトナム」 中表紙写真

柳澤紘美

バックパッカーというよりは、バックパッカーに憧れている。

仕事の休みに、一週間とか海外にふらふらと。かなりの小心者、そしてメンタルが弱い。でも海外に行きたい。いつも葛藤しながら、海外へ行っています。

ブログ<http://romi0303.blogspot.jp/?m=1>

インスタグラム<http://instagram.com/romi0303>

旅人からの伝言 特集「ベトナム」 ベトナムでの現地採用って実際どうよ？ 本文

グエン吉祥寺

中国、ベトナム、ラオスに色々関わり10年以上です。中国、ベトナム、ラオスへの想いは人並み以上にあるからこそ、気遣いは置いといて、ど真ん中どストレートで、想うことを投げ続けていきたいと思います。

表紙写真

変な日本語 写真

Hiro

28歳。新婚旅行で世界一周する……つもりだが、出発して半年経った今もまだ東南アジアに滞在中。出入国スタンプに世界の紙幣・コイン、「変な日本語」収集が趣味。この半年でやたらとビールにうるさくなった。南京虫とドリアンが苦手。

エッセイ 旅ときどき・・・ 本文&写真

旅人からの伝言 特集「ベトナム」 差し込み写真

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84（100M）

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティ、「鈴木を書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

コラム山旅 本文

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。

旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ～実況！旅人アワー～

<http://ameblo.jp/hero23/>

[Twitter:@taniwheellie](https://twitter.com/taniwheellie)

HANGOVER in the WORLD 本文&写真

三矢英人

1986年生まれ、神奈川出身。旅の適齢期が到来したためリーマンパッカーを卒業し世界へ！島根をフェリーで出港しひたすら陸路で現在タイ南部。

HP :My pace,My life(<http://www.mitsuyahideto.com>)

[Twitter :@hideto328](https://twitter.com/hideto328)

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文&写真

Connection of the Children

<http://coccocococ.web.fc2.com>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつ

なく旅プロジェクト企画中。

自炊派の手料理 本文 & 写真

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を回る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

アジア漂流日記 本文 & 写真

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

【協力】

向井通浩

JAPAN BACKPACKERS LINK 代表・運営管理者。「ハニートラップ研究所」所長。タイマッサージ依存症。ホワイト餃子。バックパッカー新聞編集長。

<http://backpackers-link.com>

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

小田奉路

海外起業家's EGG主宰

<http://worldsegg.com/>

<http://archive.mag2.com/0001295311/index.html>

【広告】

カオサン東京ゲストハウス

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

Maison D'hote Amande chez noriko

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

【編集後記 Fistera】

肌寒い日が時々ありますが、すっかり春を感じれる陽気な季節になりました。桜からつつじ、あじさいと続きますね。

野菜なんかも植えどきです。今年もパクチーとバジル、ズッキーニを植えます。初挑戦は魚料理に合うスパイスのフェネルです。すでに芽が出てきました。夏場はハーブやスパイスをわんさを使って楽しみたいです。

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○旅イベントや旅ブログなど旅に関する新情報や更新情報をビジュアルで告知するサイト

<http://event.brali.net/>

そして、Facebookページもやってます！ぜひとも「いいね！」してください。Twitterとは別の情報も掲載してますので。

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

さらには！NAVERまとめで旅に関することもまとめてますので、見てくださいね。

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

Brali Bizからセミナーを始める企画も準備中です。

「旅、インバウンド、アウトバウンド、海外」等のキーワードで独立や週末起業や副業など検討の方向けに、その方面の識者や経験者などを講師に迎え、セミナーを企画してます。

皆様のご感想などもお待ちしております。ちょっとしたメモ程度でもかまいませんので、感じたこと気づいたことなどお送りください。

<mailto:bralimagazine@gmail.com>

<http://brali.net/toukou>

次号予告（2014年6月25日発行予定）創刊3周年号

- テーマ「世界一周」
- Brali Biz 「旅」×「ビジネス」
- HANGOVER in the WORLD
- 特集 タイ
- エッセイ旅トキドキ・・・
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 自炊派の手料理
- エッセイたびたべ
- 旅先の変な日本語
- （仮称）体験する旅

記事と情報および写真の募集要項

記事と情報および写真の募集要項

次回のBraliの発行予定は2014年6月25日です。

下記の記事や情報をお気軽にお寄せください。ご応募いただきました中から厳選して掲載させていただきます。

★記事および情報

■特集 タイ→2000字以内 バックパッカーといえばタイというくらい人気のタイ。北部の山岳地帯から都市部、南部の海岸や島々まで。

■テーマ 「世界一周」→2000字以内 世界一周経験者から世界一周の魅力や世界一周で得たものや失ったものなど。

■(仮称)体験する旅 →Braliでは、観るだけや行くだけじゃなく体験する旅を推奨します。旅で体験したことを写真とともに記事にして送ってください。例えばスペインでシェリーの注ぎ方マスター、インドで綿の収穫、モンゴルで羊の乳搾り、カナダでメイプルシロップ作り、海外日系企業で職業体験などなど。こんな体験してきたけど、どう?って教えてください。2000字以内。

■個人旅行のコモディティ →なんだかパック旅行でもないのに均一化する個人旅行。旅人の数だけ旅があるはずなのに、なんだかみんな同じ旅してない?「語学留学」、「世界一周」、「旅ブログランキング」のいずれかの内容であなたの考えを記事にしてお送りください。2000字以内。

★写真

■Brali表紙用写真

特集の地域で撮影された写真を募集します。

★随時募集(掲載はいつになるかわかりません)

■旅で使えるデジタルアプリ →旅で役に立ったアプリを教えてください。

■HANGOVER in the WORLD →旅先での酒や酒場にまつわるショートコラムをお待ちしています。

■変な日本語→海外でよく目にする「変な日本語」。写真とどこで撮影したかを教えてください。

■海外支援団体などの団体さん、活動PRや支援募集などBraliに無料掲載いたします。取り組みなどのPRなどにご利用ください。

■海外ボランティアツアーや海外青年協力隊参加などの体験談を大募集しています。旅行では体験できないことや、秘話などをお待ちしています。

記事投稿および投稿に関するご質問はメールにてお願いします。

bralimagazine@gmail.com

投稿フォーム

<http://p.tl/Mi5K>

<http://bralimagazine.blogspot.jp/2011/11/blog-post.html>

奥付

奥付

Brali

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○Brali Circus イベントもブログの更新も旅に関することならなんでも拡散

<http://event.brali.net>

●Facebookページ

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

●NAVERまとめ

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

●mixiページ

<http://p.mixi.jp/brali>

●twitter

<https://twitter.com/bralinet> (Official)

<http://twitter.com/2moratorium>

【Braliの指針】

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。

また旅に出てみるのが、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。

旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つとします。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験してない人へは追体験をしてもらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランティアなど）仕組みづくりを行ないBraliも社会に寄与します。

編集：くりはらのぶゆき、Team Brali

発行：くりはらのぶゆき